

# あなやま

社会福祉法人 信和会

〒407-0263

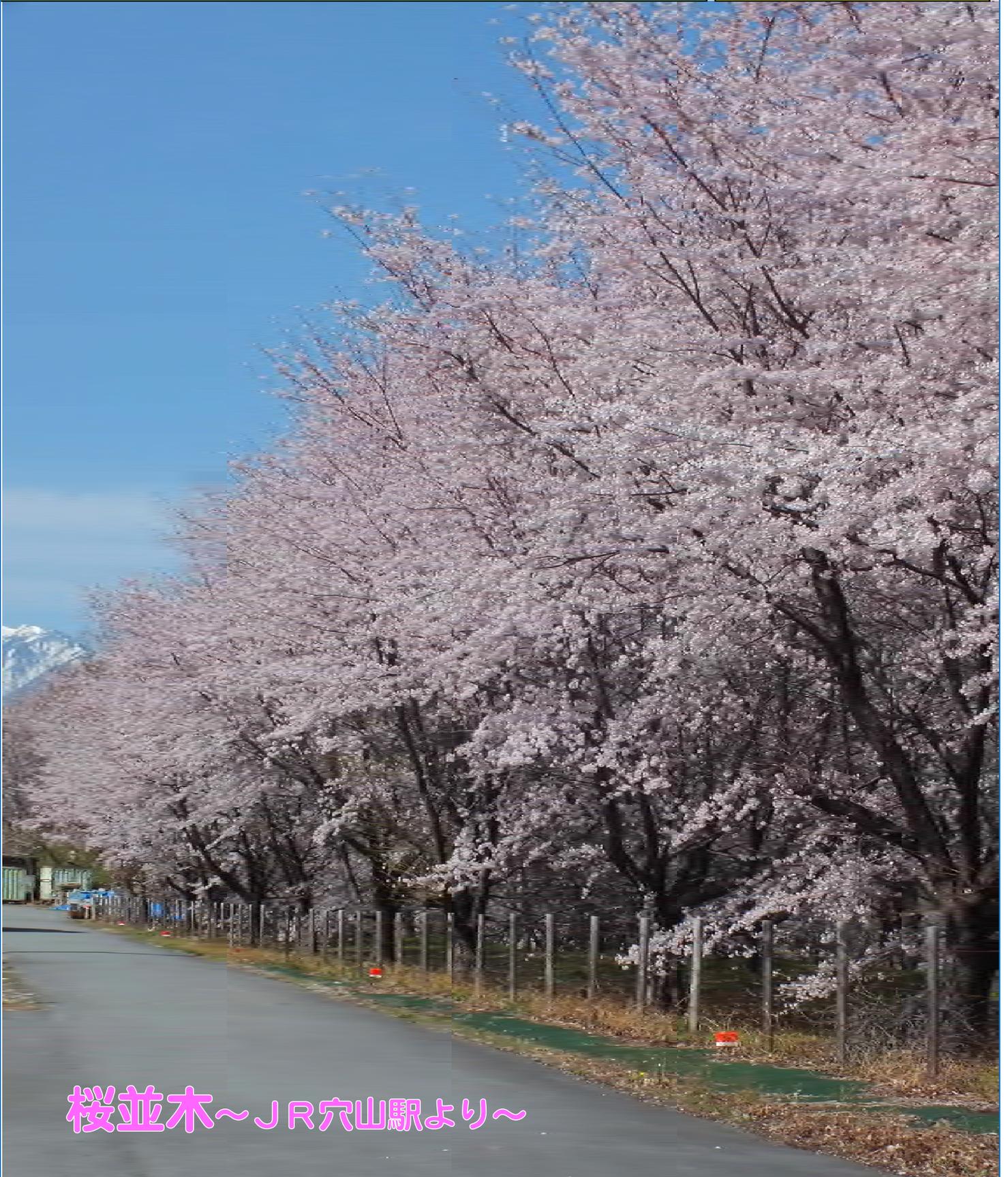
山梨県韮崎市穴山町 5164

TEL 0551-25-6100

FAX 0551-25-6103

<http://www.sip-shinwakai.jp>

編集責任者 栗原 信



桜並木～JR穴山駅より～

# 『 偲ぶ ～満開の桜とともに～ 』

社会福祉法人信和会

理事長 栗原 信

令和4年2月2日に当法人の会長であり父 栗原信雄が逝去いたしました。享年90歳。父は、昭和7年10月1日にこの世に生を受けました。ちょうど犬養毅首相が暗殺され政党政治が幕を下ろし、代わって軍が政治の実権を奪うことになった年です。そして昭和16年太平洋戦争に突入り昭和20年敗戦で幕を下ろしました。その後は世界の最貧国となり国民はどん底の生活を強いられることとなります。しかし、日本人の英知と向上心により再建を果たし経済大国としての地位を造り上げました。この激動の時代を過ごしました。そのような世界の中で、郵便局長35年、福祉に転じて35年を全ういたしました。

父は、兄弟も多く私の祖父の病気もあり、進学せずに高校を卒業するとすぐに稼業であった郵便局長となり栗原の家の面倒を見るように祖父から言われたそうです。父の兄弟は7人おり若い父としては大変なことだったと推測します。そのような中、保護司や地元のサッカー少年団の設立など郵便局長をしながら地域のことに積極的に活動し、「局長さん、局長さん」と地域の皆さんがよく家に来ていたことを覚えています。

昭和61年5月に精神薄弱者更生施設「穴山の里」が開設しました。昭和61年頃は、バブルの時代で福祉施設を造られると周囲の土地の価格が低下すると云われ、東京都では地価の高騰と建設反対で都はや止むを得ず都内での建設をあきらめ、施設建設を都外に求めていました。その窮状を当時の東京都福祉局長の金平輝子氏から切々と訴えられ、少しでも私に役に立つことが出来ればと考え、先祖から引き継いだ1万坪の土地を東京都の都外施設として穴山町に誘致することを決意したそうです。そして、家族会議が行われこの話を聞かされました。福祉施設のイメージも障害者のイメージもなくただただ驚いたことを覚えています。その後、地区の区長会、近隣の皆様と相談し会合を重ねほとんど異論もなく賛同してもらったそうです。

これも父が若い時から地域のために汗をかいてきた結果だと思えます。

当時の内藤登市長（現韮崎市長の父）の応援を得て、韮崎市議員協議会へ計画の説明を行い全会一致で賛成をもらい建設の運びとなりました。まったく経験のない施設運営を行うため、母と1つ上の姉が施設職員として勤務することになりました。私は、まだ韮崎高校の生徒であり家族が誰も福祉を勉強したことがないので、私が勉強をしようと進学を決め、福祉の専門大学である日本社会事業大学に進学しました。その年に施設が完成し運営を開始しました。しかし、経営については素人であり、建設費にほとんどのお金をつぎ込んでしまい 運営費は、2か月後に入金されることもわからずに人件費、運営費に必要な資金5千万円を理事や様々な方に相談して工面したそうです。創設当初はお金がほとんどなかったのも、助成金を協力企業や団体に申請し冷蔵庫、軽トラック、電子レンジなどを寄贈してもらっていたようです。そんな厳しい経営の中でも、障害者への理解と建設を許可していただいた地域への感謝もっていました。障害者が地域の皆様に何かできることはないかを考え無人駅となった穴山の駅の清掃を毎週土曜日に行い駅を利用する人が気持ちよく利用できるよと開設以来現在も行っております。2年前には、長く続けてきたことが評価され「緑綬褒章」をいただくことになりました。そのほかにも、穴山の町を桜の町にしたいと廃棄道やバイパス沿いに利用者と職員で桜の苗を植え、管理し、今では穴山の町は桜の花でいっぱいとなり、今年も多くの方が桜を見るために穴山の町を訪れてくれています。

法人の理念である「接遇」「感謝」「向上」ですが、父の人のために尽くしてほしいとの願いが込められた理念であることが感じられます。

中国のことわざに「水を飲む人は井戸を掘った人の恩を忘れない」というものがあります。





手軽に鑑賞できる盆栽



杜への登坂



旧引き込み線の土手

井戸を掘ることは大変であり、水がでないかもしれないし、水がでたとしても濁らないように整備し続けなければならないので、最初に行動を起こすことは勇気があることです。私は、今年55歳になりますが、ちょうど父が施設を開設した年齢と同じになりました。そう考えると「すごい決断をこの年齢でしたのだな」と感心させられます。

その井戸に水を汲みに来る人が多くなればなるほど、最初に井戸を掘った時の思いが伝わらなくなったり、その井戸を中心として集まった「人の縁」も、その井戸があったからこそその「縁」だということを忘れてしまいがちになりますが、父の死で考えるきっかけとなりました。創設者の思いを受け継ぎ地域に無くしてはならない施設として、穴山に施設が在ってよかったと認められるように努力をしていきたいと思ひます。"

これからも信和会をよろしくお祈りします。



穴山町さくら公園



穴山の杜東側庭園



穴山町ふれあい公民館



法人敷地内



七里ヶ岩ラインより望むさくら公園



法人敷地内



七里ヶ岩ライン浴道



甲府駅北口歴史公園

生前、栗原会長は県内をはじめ多くの地域に

さくらの植樹を行われました。法人施設の周りにも様々なさくらが咲き誇っています。

桜は春の象徴、花の代名詞として和歌、俳句をはじめ文学全般において非常によく使われており、現代でも多くの音楽、文化作品が生み出されています。古来から桜は穀物の神が宿るとも、稲作神事に関連していたともされ、農業にとり昔から非常に大切なものでした。日本人の大多数の人たちが桜を好んでいます。九州から関東での平地では、桜が咲く時期は年度の変わり目に近く、桜の人気は様々な生活の変化の時期であることも関係するといわれています。さくらの便りを聞く度に会長との思い出を胸に抱き、こよなく愛したさくらをこれからも大切に育てて行きたいと思ひています。ご冥福を心からお祈りいたします。

信和会職員一同



# 穴山の里

障害者支援施設 穴山の里  
〒407-0263 韮崎市穴山町 5164  
Tel0551-25-5900  
E-mail : [sato@sip-shinwakai.jp](mailto:sato@sip-shinwakai.jp)



## 桜の由来について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年も残念ながら穴山町のさくら祭りが中止となってしまいましたが穴山町の桜は例年と変わらず、とてもきれいに咲き誇りました。そんな不動の桜ですが、皆さんは桜の歴史についてご存じですか？古事記の記録としては、木花咲耶姫(コノハナサクヤビメ)が、富士山の上空から花の種をまいて、そこから桜が生まれたと記されています。また、桜の名前の由来もこの姫から付けられたとされています。来年こそは、さくら祭りが開催され多くの人に穴山町の桜を楽しんでもらいたいと思います。



理事長：栗原信

## ～今年度に向けて～



新型コロナ感染症が蔓延しはじめて3年目となり、まだまだ収束に至らない日々です。今年度、穴山の里でもコロナ禍で今までの支援を行う事が出来ない部分もありますが、感染対策を徹底し、新しい生活様式で利用者様へのサービスの提供を行っていきたく思います。また、利用者様の高齢化も踏まえて今後利用者様一人一人に適したサービスの提供が出来るように見直し等行っていきたく思います。

サービス管理責任者：小林恵美香

## 大蓮池の球根植え



蓮池の蓮を見ることが出来る範囲を広げようと、地域の方と一緒に球根の1部を別の池に移す作業を行いました。見頃の7月には、きれいな蓮が咲きますように。



## お楽しみ食

コロナ禍で自粛期間が続き、外出や外食が難しい状況が続いている中、少しでも外食気分が味わえるよう、実施しています。嗜好調査や日頃の利用者さんのお話から、冬期は「お寿司」「海鮮丼」等を提供。

日頃から食事を楽しみにしている方が多く、お楽しみ食(お寿司)と知ると、朝から心待ちにしている方や、嬉しそうに笑顔で「美味しい」と食事をされていました。



## 春爛漫



穴山の里の周りには  
春がいっぱい!



## 桃の摘蕾作業始まる



去年コロナの関係で桃の収穫が出来ませんでしたが、今年は美しい桃が収穫できるように利用者職員で力を合わせた作業を行っていきます。

コロナ感染が続きますが、春は訪れてきます

# 穴山の杜

特別養護老人ホーム穴山の杜  
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390  
TEL0551-25-6100  
E-mail : [mori@sip-shinwakai.jp](mailto:mori@sip-shinwakai.jp)



植樹して16年、穴山の杜施設敷地内の約60本の桜も立派な樹形になってきて満開時は見事な花景色となります。花の寿命は短期間ですが見事に咲き誇っている様子は、古くから多くの詩の中で詠われております。中でも特に多くの人々に唄われているお馴染みの滝廉太郎作曲の「花」また、山梨県牧丘町出身の作詞家大村主計が作詞した「花かげのうた」などがあります。特に大村主計の「花かげのうた」は、塩山市にあります向嶽寺の境内にその歌碑が建立されておりますので、桜の咲く時期一度訪ねてみてはいかがでしょうか。



## 令和4年度実行計画

穴山の杜令和4年度の事業計画が理事会、評議員会で承認されました。これをもとに、次の項目について重点的に取り組んでまいります。

### ◎ 委員会活動の充実

全員参加の委員会活動を通して、活動目標の達成を図る新たに機能訓練、栄養ケアの2つの委員会を追加し、介護技術の向上と施設入居者へのサービス向上に寄与する。

### ◎ 福祉サービス第三者評価機関の受診を実施し、適切な施設サービスの質の評価を実施し改善につなげます。

### ◎ 防災（地震）対策の充実、BCP計画の充実。



## 10年目を迎えて

生活相談員 河内 摩衣

山梨に移住をして約1週間後、穴山の杜へ初めての勤務となりました。もう10年も経つのですね・・・利用者やご家族の皆様、職員の皆が、温かく受け入れてくれてこそこの今であると思っています。本当にありがとうございます。

生活相談員は、入居を希望された時、まず始めに施設としてご挨拶をさせていただき立場にいます。ご本人ご家族の皆様は、本当に様々な状況・事情によってご連絡を頂いて申し込みをされています。いざ入居をする際には、一安心と想いつつ、複雑なお気持ちでいることもお察し致します。そして入居をされた後も・・・それぞれの段階で、ご本人・ご家族のお気持ちに寄り添えるように努めてきたつもりです。ご本人に対しては、どれだけ「その人らしさ」が失われずに、「これまで通りの暮らし」が提供できるかどうか。ご家族に対しては、日々安心してご本人に想いを寄せることが出来ているかどうか。今後も思い悩み続けることと思っています。

今日も誰かに「ありがとうねえ」「良かったよお」「気持ちよかったあ」「また頼むね」「助かったよ」とニコッと笑顔で言ってもらえると、ホワッと元気を頂けるのです。

これからも皆様から、そんな言葉をかけていただけるよう努めてまいります。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

## 安全衛生委員会より

昨年度はコロナ感染防御対策に追われた1年間でした。

委員会活動もコロナウイルス感染対策会議や手指消毒の徹底についての実践指導、施設入居者への面会禁止又、施設職員に抗原検査キットを配布して出勤前に自宅において抗原検査を行い異常のないことを確認して出勤すること。職員の行動規制として県外に出かけるときは申請許可を受けることなどの対策を行いました。

まだまだ安心できる状況ではありませんので引き続き感染防止に努めます。



## 3回目 コロナワクチン終了

3日間に分けて、予定していた利用者全員の接種を実施しました。接種後の様子観察でも大きく体調を崩される利用者もなく、終了する事ができ一安心しました。



## 喫茶店OPEN

春の色が見え始めた景色を眺めながら、甘酒や珈琲、おまんじゅうを召し上がりました。8段のひな飾りを前で写真撮影も行いました。



# わ〜く 穴山の里

多機能型事業所 わ〜く穴山の里  
〒407-0263 韮崎市穴山町 4433-1  
TEL : 0551-25-5866  
E-mail : [work@sip-shinwakai.jp](mailto:work@sip-shinwakai.jp)



## 施設内研修



講師の小林様



感染症対策も  
しっかり行い  
ました

単価アップを皆さん  
に報告！  
気が引き締まる思い  
です



創作活動の一環として kitopas (キットパス) を使った作品作りを始めています。講師は日本理化学工業株式会社キットパスアートインストラクターの川口さんです。新たな繋がりの中で発信力のある作品作りをしてまいります。



令和4年度最初の業務推進会議は、取引先企業のアイパックスイケタニ(株)の事業部長小林様を講師にお招きし、職員研修を行いました。私たち職員は、何かと福祉寄りの思考になりがちですが、仕事をいただいている企業様の考えや思いを知り、これからの作業支援や障害サービス事業所での就労について繋げていきたいと感じられる学びの場となりました。



N.K さんがわ〜くの仲間になりました！恥ずかしがり屋だけど笑顔が可愛いNさん、よろしくお願ひします。

# 共同生活事業所

共同生活事業所 (わ〜く穴山の里内)  
〒407-0263 韮崎市穴山町 4433-1  
TEL : 0551-25-5866



## 新しい風が吹きました

管理者: 鎌倉 栄子

生活支援員として働かせていただき、5年目になります。今回、管理者として共同生活事業所を支えていくことになりました。これまでの経験を活かして、利用者さんがより良い生活を送れるよう努めていきたいと思ひます。

職員: 保阪 千恵

知人に紹介され、去年の11月より世話人として、利用者さん達の支援に携わりました。4月より、職員として働かせていただきます。利用者さん達が仲良く、楽しく過ごせるように、支援していければと思ひます。焦らず少しずつ成長し、頑張っていきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。

## 休日の様子

GHの近所の桜が満開に!!  
利用者さん達と、お庭でピクニック!!!!  
いつもとは違う場所で、食べるご飯は更においしく、良い気分転換となりました。



eQBK

世話人さんと一緒に、ごはん作りを行います。また、食器も自分達で洗っています。



駅舎清掃や郵便局の周辺清掃をしています。掃除用具を率先して持ち出し、きれいに清掃しています。



# 穴山の杜短期

穴山の杜 短期入所生活介護事業所  
〒407-0263 韮崎市穴山町 4410-3  
TEL : 0551-25-0800



## 新年度を迎えて

リーダー 佐野 千津香

先般、施設において発生しました新型コロナウイルス感染につきまして、ご利用者及びご家族、関係する多くの皆様に多大なるご心配ご不便をおかけしましたこと改めてお詫び申し上げます。

2月3日を持ちまして集団感染が収束をし、以後3月1日迄の間を再開準備期間と置き、施設内の消毒や環境整備、感染症対策の更なる確認を全職員で行いました。

現在徐々にではありますが利用者の受け入れを再開しております。今後も皆様のご要望にお応えできるよう、また以前にも増してご利用者やご家族に喜んでいただける施設を目指してまいりますのでご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。



## 開所記念日

春の日差しが心地よく色とりどりの花が咲き競う4月1日、施設は7年目に向け、新たなスタートを切りました。午後には栗饅頭と抹茶で茶会をし、皆で施設の誕生日を祝いました。利用者の方の中には茶道経験者もあり、終始和やかな時間を過ごしました。



## 創作活動

リハビリの一環として、一足早く桜を咲かせました。貼り絵を組み合わせたたり、お花紙をこよりにしたりと同じ桜にもそれぞれ個性が出ており、ホールが一気に華やかになりました。



# 本部だより

社会福祉法人 信和会 法人本部  
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390  
TEL:0551-25-6100  
E-mail: [honbu@sip-shinwakai.jp](mailto:honbu@sip-shinwakai.jp)



## 理事会・評議員会報告

\*今回はコロナ禍の状況も考慮し、理事会・評議員会とも書面承認とさせていただきます。

理事会承認 : 令和4年3月18日

評議員会承認: 令和4年3月28日

審議事項 :

- 第1号議案 令和3年度補正予算について
- 第2号議案 令和4年度事業計画について
- 第3号議案 令和4年度予算について
- 第4号議案 就業規則変更、役員補償保険契約 他

\*法人全体の予算状況は右記のとおりです。  
杜ショートの入収入減、人件費の増を見込んだ予算となっております。  
理事、監事、評議員の役員全員よりご承認いただきました。

資金収支次期当初予算  
令和3年4月1日

勘定科目		当年度予算額	次期予算額	増減
事業活動による収入	介護保険事業収入	379,141	388,526	-12,615
	就労支援事業収入	11,500	11,500	
	障害福祉サービス等事業収入	501,560	507,373	5,813
	生産活動収入	825	177	-448
	その他の収入	5,457	4,184	-1,273
	事業活動収入計(1)	898,283	899,760	-8,523
事業活動による支出	人件費支出	535,031	553,390	18,359
	事業費支出	103,396	103,201	-195
	事務費支出	89,802	83,863	-6,139
	就労支援事業支出	11,000	11,000	
	生産活動支出	450	450	
	利用者負担軽減額	1,000	800	-200
	支払利息支出	2,056	2,056	
	その他の支出	2,183	1,830	-333
	事業活動支出計(2)	744,898	758,390	11,492
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	153,385	133,370	-20,015
等に設置する資産	施設整備等収入計(4)		9	9
	施設整備等支出計(5)	45,563	43,822	-1,941
活動以外の収入	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-45,554	-43,613	1,941
	その他の活動による収入計(7)	73,800	74,010	210
	その他の活動支出計(8)	78,045	78,141	96
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-4,245	-4,131	114
活動以外の支出	予備費支出(10)	8,000	8,000	-2,000
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	95,586	79,617	-15,969

## 感謝録

(令和3年12月16日から令和4年3月31日)

～ご寄付を頂きました～ (敬称略)

ありがとうございました。感謝いたします。

木島廣子・宮本美千代・古内保明・植木敏子・仲二見金男・  
中野はる・千野公洋・穴山の里保護者会・㈱サンカイゴ・  
細田設備・能見荘・特別老人ホーム春光園

## 訪問録

(令和3年12月16日から令和4年3月31日)

☆教育実習・職場実習 (敬称略)

◎日建学院

清水 満・松尾二郎

## 令和4年度 辞令交付式を行いました。

令和4年度辞令交付式が新規採用者3名を迎え挙行政しました。  
理事長より採用者・昇格者一人一人に辞令が交付され身の引き締まる思いを感じることが出来ました。新入職員を代表して渡邊太朗さんが決意を表明し、社会人として、信和会の一員としてのスタートを切りました。  
新年度からの各事業所運営に伴い、リーダーなどの任命も行いました。  
また、同時に開催された勤続表彰では5名の職員に永年に渡り勤務されたご苦勞と感謝を込めて賞状並びに記念品の贈呈を行いました。受賞されました皆さんおめでとうございます。



## 穴山の里での新型コロナ感染クラスター

### 事例を関係協議会に報告しました！

障害者支援施設 穴山の里における

### 新型コロナウイルス感染症クラスター報告

〇クラスター発生から収束まで

〇それからの支援回復までの長い道のり

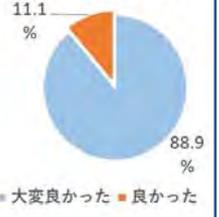


甲斐市障がい者自立支援協議会と峡北地域障がい者自立支援協議会からの要望があり、2月と3月に研修講義として報告いたしました。

当初は対面の予定でしたが2講義ともオンラインでの開催に変更となりました。大規模災害レベルのクラスターであったことや収束以降の支援の回復までの大変な状況は驚きとして受け止められたようです。

一時間ほどの講義でしたがクラスター発生については、他人事でなくいつ起こっても不思議でない現状ですので、皆さん真剣に聴講されていたと思います。講義後の質問もより具体的な内容で、事業所の方に少しでも参考になればありがたいと感じています。主催者の方から 皆さんには好評で今後の予防・対策に生かしたいということでした。

研修の内容は？



## 栗原信雄 会長 お別れの会

令和4年3月13日、14日の両日、栗原会長のお別れの会を栗原家・信和会合同で開催致し、多くの皆様に献花をして頂きました。

生前のお人柄が感じられる心温まる会となりました。



## 編集後記

今年の桜は、盆地や穴山での開花時期が近くて、一斉に咲きほこった感じがします。桜の花咲か爺さんであった会長が亡くなられて最初の開花です。県内外で植えられた沢山の桜たちが“元気に咲いているよ”と魅せてくれているのかと思ったりしています。福祉をはじめられた思い、桜を全国規模で植えられた思い、会長の思いはしっかりと行動となり形として伝わっています。これからも信和会は理事長を中心に皆様とともに成長し続けてまいります。(T. F)